

勤労者センター 返還による支障は



宇津木 治宣



町長

利用に空白が生じぬ
よう努める

質問 町は、勤労者センターをJAに返還し、「世代交流多目的施設」(※1)を建設するとし、基本構想策定事業予算を計上している。

答弁 町長 「役場周辺地区公共施設等高度利用計画」(※2)どおりの施設を建設した場合、建設費は12億円と見込まれる。

そこで、現在の利用状況と、既存施設の空き状況を照らし合わせ、代替施設としての利用が可能かを精査している。

質問 財源確保の努力はしているか。

答弁 町長 新設する場合は、財源的に少しでも有利に

本日の催物		前	中	後	夜間
1階会議室	10:30~12:30	14:00~17:00	17:00~21:00		
レク室	10:00~13:00	13:00~15:30	15:30~19:30	19:30~21:30	
2階第1会議室	10:00~12:00	13:00~17:30	17:30~21:30		
談話室	10:00~12:00	13:00~17:30	17:30~21:30		
2階第2会議室	9:30~11:30	13:00~16:00	17:30~21:30		

多くの団体が利用する
勤労者センター

建設できるよう取り組んでいる。返還期限は迫るが、日程的に空白が生じないか。

答弁 町長 既存施設の活用でも、新規の建設でも利用者

者に空白が生じぬよう努力する。

質問 共働き世帯の増加で低年齢の保育ニーズは増加しているが、待機状況と対策は。

答弁 町長 9月1日現在、0歳児3人、1歳児2人、2歳児2人の待機児童がいる。当面の対策として、他施設への利用調整を行っている。また、国

が決めた面積基準の範囲内で認可定員を超えた受け入れを行い、待機児童の解消を図っている。

質問 文化センター周辺開発に伴う児童数増加への対応策は。

答弁 町長 「玉村町子ども・子育て支援事業計画」の中

間見直しの中で、教育・保育の

必要量を推計し、受入量を確保するための施設整備等の検討を行っている。

質問 国保税や介護保険料の負担軽減を

国保税の引き下げを。

答弁 町長 国民健康保険は、国保税で運営するのが原則で、事務費や出産児一時金等法令に基づくもの以外の一般会計からの繰り入れは、検討していない。

こんな質問もしています

・玉村町版生涯活躍のまちの進捗状況は

※1 「世代交流多目的施設とは」 役場周辺地区公共施設等高度利用計画における多世代が利用できる町民交流施設

※2 「役場周辺地区公共施設等高度利用計画とは」 役場周辺地区における公共サービス提供施設等の高度利用を推進するための計画

道の駅南側周辺エリアの 開発を！



石内 國雄



町長

課題はあるが、推進
していきたい

質問 道の駅玉村宿は、ETC 2・0利用による高速利用者の一時入退出が可能になり、

高速道路サービスエリアの補完機能を持つことになった。また、EV充電設備も充実し、玉村町の重要な情報発信施設となってきた。

道の駅玉村宿とその南側周辺への商業施設、公共施設の充実が必要と考えるが、町は道の駅玉村宿とその南側周辺をサービスエリア相当に構築していく考えはないか。

答弁 町長 鉄道の駅がない玉村町は、道の駅玉村宿周辺を町の玄関口と位置づけている。総合的な案内所に加え、滞在型の道の駅として施設整備ができれば、経済効果は大きく、雇用の促進も図られ、大いに町に寄与すると考えている。

道の駅周辺部の開発についてはさまざまな課題があるが、今後、推進していきたいと考えている。



町民が期待している道の駅玉村宿

子育てワンストップサービスの運用状況は

質問 マイナンバー制度等を活用した子育て行政サービスの

変革が行われている中、平成29年1月16日に一部機能の先行稼働が開始された。

また、7月18日の情報連携の試行運用に併せ、マイナンバー(※1)・子育てワンストップサービスも試行運用が開始されている。

子育てワンストップサービス

は、①自分にとってたりないサービスを検索して、②自治体にオンラインで申請する機能がある。

子育て等に係る申請手続のワンストップ化は、本年9月から本格運用されることになっている。玉村町の運用状況はどうか。

答弁 町長 玉村町は、このサービスの情報提供ができる状態になっている。電子申請等については、今後進めていく予定である。

答弁 経営企画課長 町は、電子申請ができる自治体としての申請を現在行っており、今年度中には認定される予定である。

※1 「マイナンバーとは」 マイナンバーに関連した情報等を確認・利用できる行政運営のオンラインサービス。